

# 2020年3月期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなりスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2020年5月7日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2020年5月7日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

I .2020年3月期の決算の概況

II .2020年3月期第4四半期の決算及び事業の概況

III .2020年3月期第4四半期の重点施策の進捗状況

IV .今後の目指すべき方向性

V .当社の経営目標及び株主還元について

# I .2020年3月期の決算の概況





# 2020年3月期サマリー

## ▶ 新型コロナの影響について

- 空港外貨受取サービスは一時停止中（3月31日より）  
海外旅行需要の蒸発により決済系事業は苦戦（外貨両替・越境ECは稼働）
- 自粛要請を受け在宅のテレワーク、変則シフト、時差出勤等を積極推進
- FX、証券、CFDはサービス継続中。稼働需要も従来通り
- コイネージ登録・開業準備は当初予定よりやや遅延

## ▶ FX売上面

- 19年4月～20年2月 相場低迷と価格競争により、取引高低下及びシェアが減少、  
営業収益面で苦戦
- 20年1月～3月 既存顧客重視路線を再確認、重点施策展開  
コロナ禍中、不安定なマーケットの中で問題なく当社サービスを継続  
結果として営業収益、経常利益の追い風となる

## ▶ コスト面

- 19年7月にコイネージ社を完全子会社化、登録・開業に向け準備（コスト約3億円）  
今春開業予定で1年内外での単月黒字化を目指す
- 基幹システムの更新を3Qに無事完了、特別損失含め約1.5億円計上するも、今後は年間  
約1.5億円超のコスト削減を見込む（本年3月のコスト抑制にも寄与）



# 当期の業績

Money Partners Group

## ■ 前期（2019/3期）と当期（2020/3期）のP/L主要数値

（単位：百万円）

	2019/3 期	2020/3 期	前期比 増減	主な増減要因
営業収益	6,230	5,872	▲5.7%	
受入手数料	94	84	▲9.8%	
トレーディング損益	5,621	5,400	▲3.9%	
金融収益	81	65	▲19.6%	カバー先への差入保証金残高減少に伴う受取利息の減少
その他の売上高	433	322	▲25.7%	システム子会社によるシステム関連売上の減少
金融費用	185	193	4.4%	
売上原価	372	263	▲29.3%	システム関連売上高の減少に伴う減少（売上総利益は横這い）
純営業収益	5,673	5,416	▲4.5%	
販売費・一般管理費	4,501	4,793	6.5%	連結子会社の追加による固定費の増加等
営業利益	1,171	622	▲46.9%	
経常利益	1,181	595	▲49.6%	
税金等調整前当期純利益	1,149	515	▲55.2%	
親会社株主に帰属する当期純利益	772	249	▲67.7%	
営業収益経常利益率	19.0%	10.1%		

当期は、期初から外国為替市場の変動率は低迷していたが、2020年2月下旬から外国為替市場が大きく変動し、その影響で業界の外国為替取引高は全体で約20%の増加となる。

第3四半期までは営業収益面で苦戦するも、第4四半期からの既存顧客重視の施策展開により、営業利益・経常利益を第4四半期で大幅確保することとなった。

## Ⅱ.2020年3月期第4四半期の決算及び事業の概況





## 2020年3月期第4四半期（2020/1-3） 連結決算の総括とポイント

- ① FX口座数は、前四半期末比1,040口座の増加  
 預り証拠金は、キャンペーン等により既存顧客中心とした入金が増加し3.7%の増加

総口座数	340,483口座	2020/3期3Q末比	0.3%増
預り証拠金	65,510百万円	2020/3期3Q末比	3.7%増

- ② 外国為替取引高は、外国為替相場の変動率が上昇し前四半期比より大きく増加

1-3月取引高	3,117億通貨単位	2019/10-12月比	96.5%増
---------	------------	--------------	--------

※取引高にはCFDに関する数値を米ドルに換算した上で含めております。

- ③ 営業収益は、3月に2010年5月以来の10億円を超える水準となり大幅に増加、システム関連売上高の増加も寄与し、前四半期比79.0%増加の2,034百万円

- ④ 損益は、3Qの基幹システム更新に伴う一時費用がなくなった一方、外国為替取引高増加に伴う変動費の増加や利益の増加に伴う賞与引当金繰入額等の増加があったことから販管費が5.0%増加したものの、経常利益は559百万円（前四半期は148百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は344百万円（前四半期は190百万円の純損失）とそれぞれ大幅に改善





# レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 営業収益と経常利益の推移

レバレッジ規制開始

(単位：百万円)

3,500

3,000

2,500

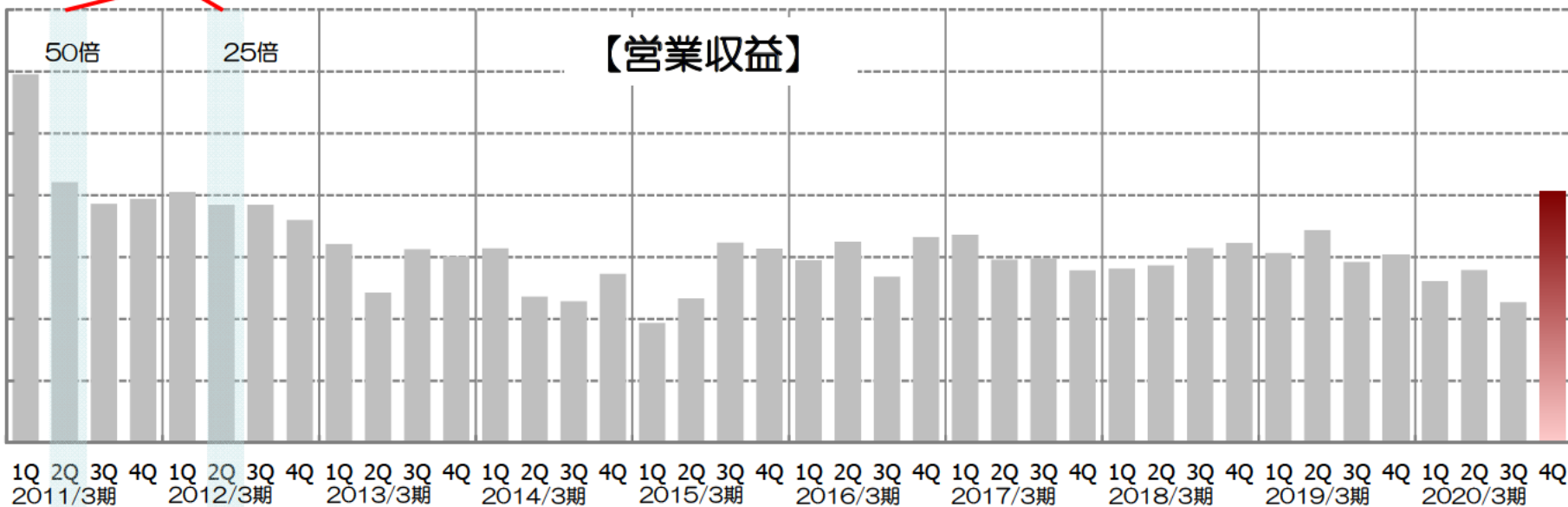
2,000

1,500

1,000

500

0



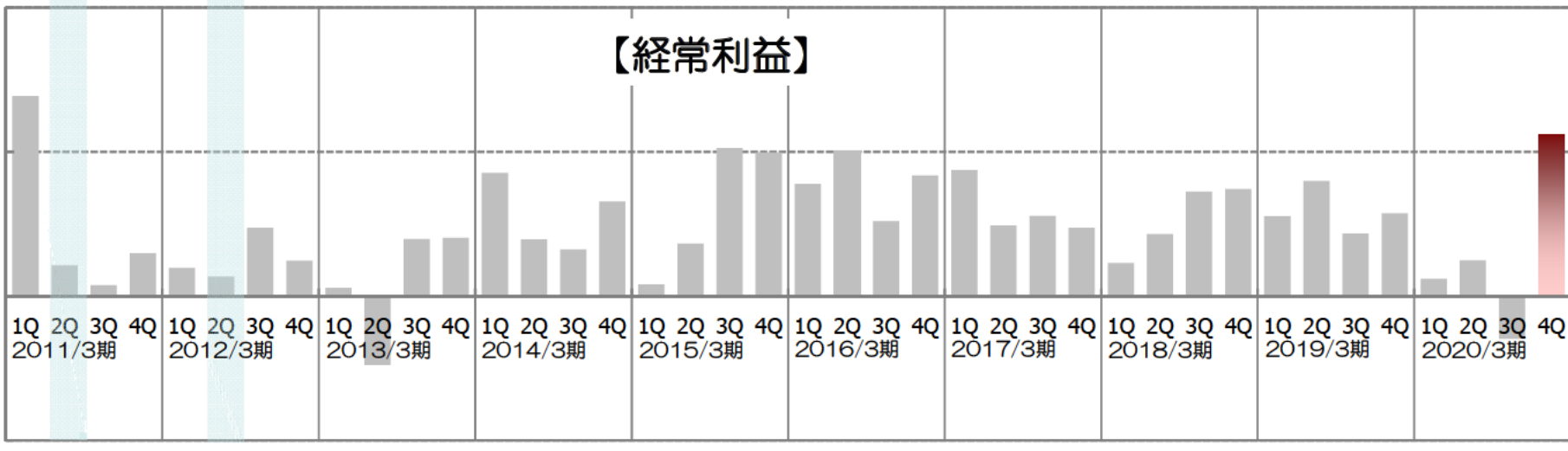
(単位：百万円)

1,000

500

0

-500





# 2020年3月期第4四半期 決算概況と影響ファクター

Money Partners Group


	2020/3期 3Q 【2019/10 ~ 2019/12】	2020/3期 4Q 【2020/1 ~ 2020/3】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	1,586億通貨単位	3,117億通貨単位	96.5%
営業収益	1,136百万円	2,034百万円	79.0%
純営業収益	1,084百万円	1,859百万円	71.4%
経常利益	▲148百万円	559百万円	—

## 【損益影響ファクター】

前四半期比

FX取引高 

- 外国為替相場の変動率は前四半期から総じて上昇。既存顧客重視のサービス展開に努め、3月には値幅が10円を超える乱高下相場の影響もあり、取引高は各通貨全体で増加し96.5%の増加。

FX収益性 

- 外国為替市場が不安定な中、配信レートを一時的なスプレッドの拡大等不安定な状況もあったが、可能な限り安定した配信に努めた結果、各通貨ペア毎の収益性が向上し、全体としての収益性が大きく上昇。

販管費 

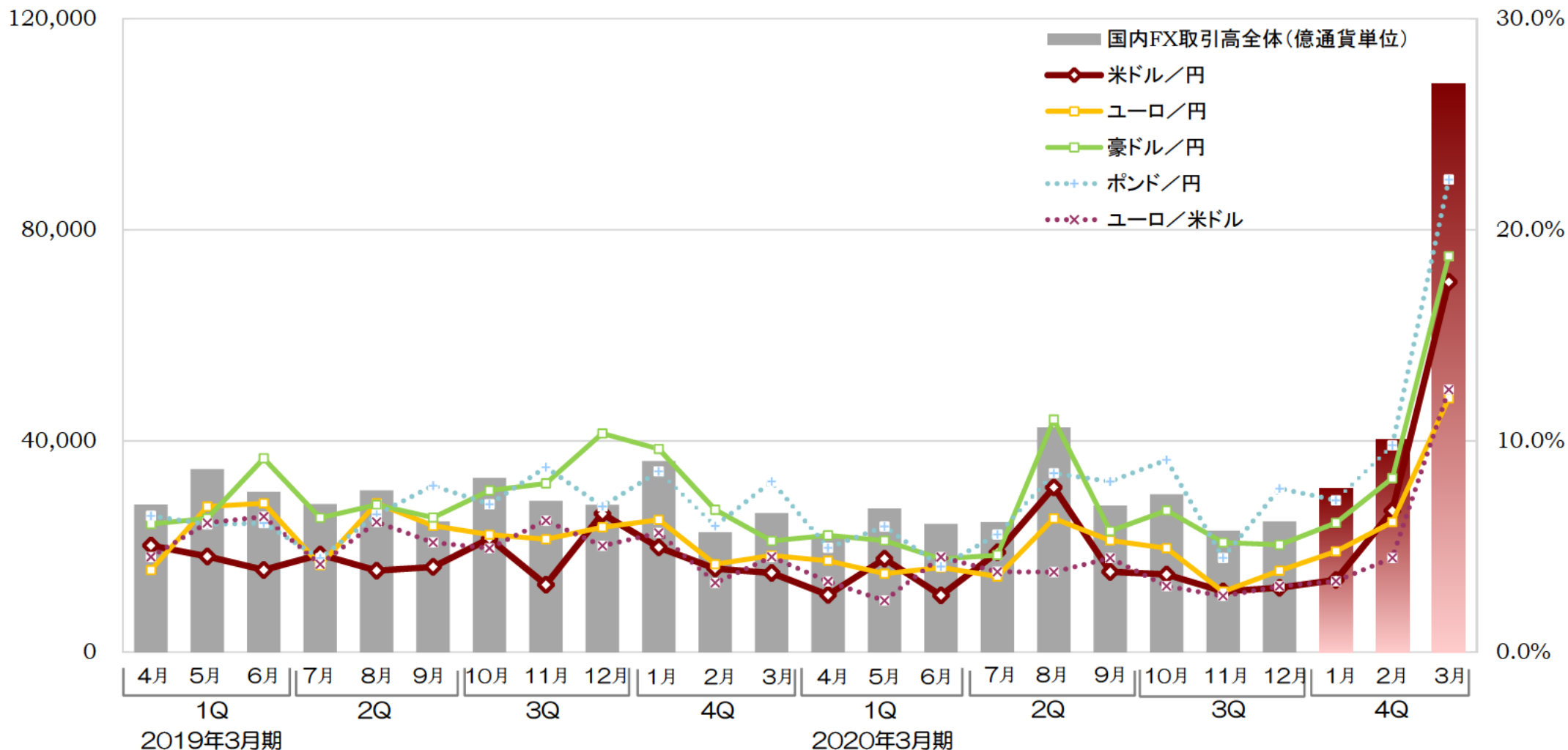
- 基幹システムの更新によりシステム運用費用が減少したが、取引高増加に伴うカバーコストの増加、利益の増加に伴う賞与引当金繰入額等の増加のほか、信用保証状の更新に伴う一時的な増加要因もあり、販管費全体は前四半期比5.0%の増加。



# FX市場の動向

Money Partners Group

## 取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



外国為替市場の変動率は、低調であった前四半期から一転し、2020年3月には米ドル/円の値幅が10円を超える乱高下となるボラティルな展開となった。  
 この結果、四半期ベースの国内FX取引高は前四半期比約130%増加。

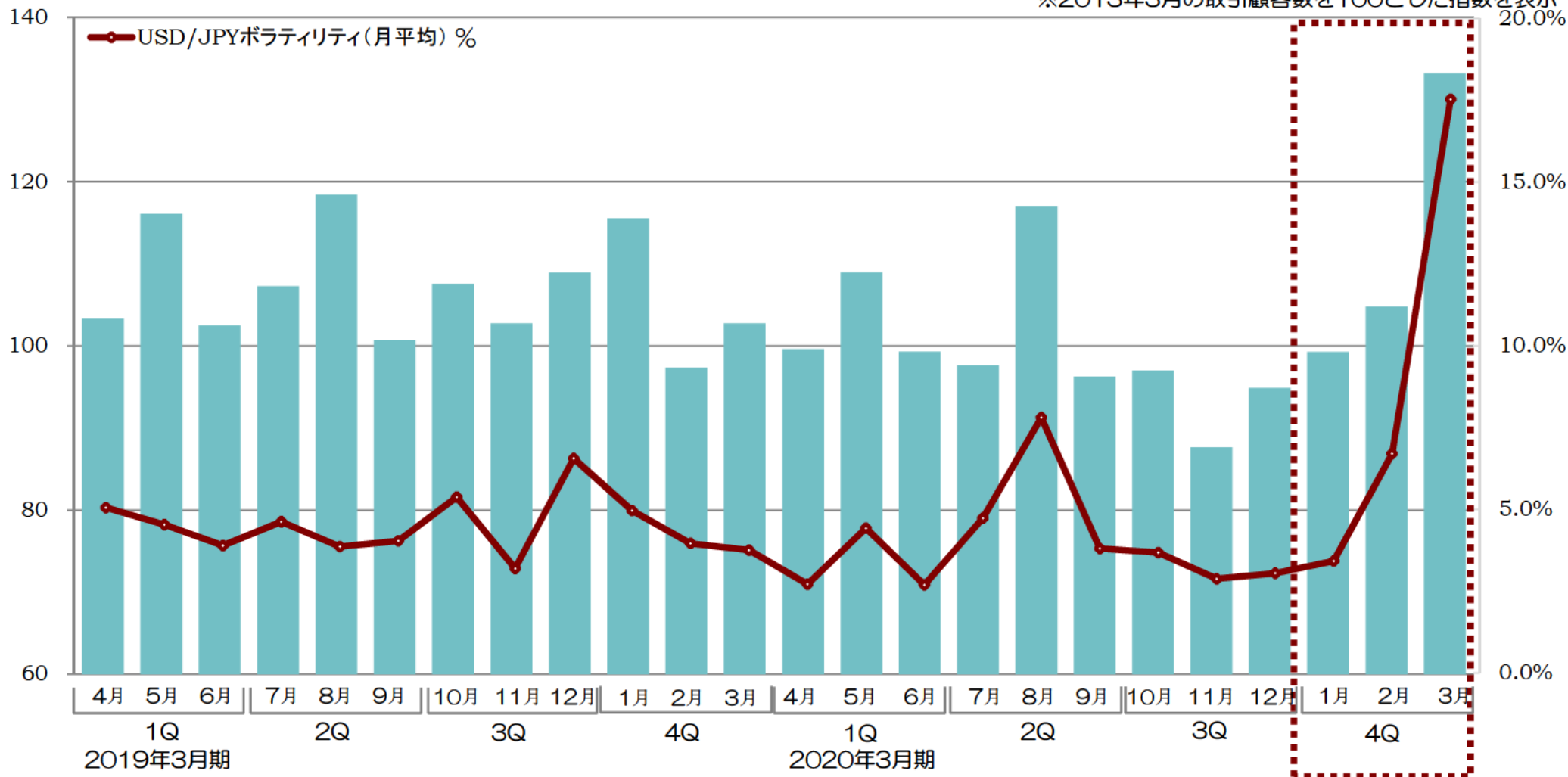


# 取引顧客数の推移

Money Partners Group

## ■ 当社FX取引顧客数（※）及び米ドル／円ボラティリティの推移

※2013年3月の取引顧客数を100とした指数を表示



米ドル／円をはじめ各通貨は、前四半期より市場相場は大きく乱高下した相場となり、取引参加者数は軒並み増加。



# 四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 四半期毎のP/L主要数値推移

(単位：百万円)

	2019/3期				2020/3期				前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	
営業収益	1,534	1,716	1,460	1,519	1,305	1,396	1,136	2,034	79.0%
受入手数料	24	24	23	21	25	25	17	16	▲7.8%
トレーディング損益	1,403	1,500	1,327	1,389	1,161	1,287	1,091	1,860	70.5%
金融収益	18	18	23	21	24	16	15	8	▲43.5%
その他の売上高	88	172	86	86	94	67	11	148	1145.7%
金融費用	45	45	46	48	50	47	48	46	▲3.9%
売上原価	73	152	72	73	76	54	3	128	3354.1%
純営業収益	1,416	1,518	1,341	1,397	1,178	1,293	1,084	1,859	71.4%
販売費・一般管理費	1,141	1,120	1,123	1,115	1,103	1,164	1,232	1,294	5.0%
営業利益	274	397	217	281	75	129	▲147	564	—
経常利益	277	399	217	287	60	124	▲148	559	—
税金等調整前四半期純利益	277	349	217	306	60	124	▲228	559	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	188	223	141	219	38	57	▲190	344	—
営業収益経常利益率	18.1%	23.3%	14.9%	18.9%	4.6%	8.9%	▲13.1%	27.5%	

営業収益は、トレーディング損益の大幅増加に加え、システム関連売上の増加により20億円を突破。  
 損益は、システム関連売上高の増加に伴う売上原価の増加や、販売費・一般管理費が増加したものの、営業利益は564百万円、経常利益は559百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は344百万円とそれぞれ大幅に改善。



# 四半期販管費推移

Money Partners Group

## ■ 販管費内訳及び主要費目の推移

(単位：百万円)

	2019/3期				2020/3期				前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	
取引関係費	368	344	390	362	349	359	338	398	17.9%
人件費	238	242	231	238	227	274	261	295	13.4%
不動産関係費	162	165	164	172	166	165	182	178	▲2.2%
事務費	238	238	217	212	228	225	252	202	▲19.8%
減価償却費	86	91	87	87	86	93	148	151	1.8%
租税公課	22	26	21	29	20	30	28	43	50.7%
貸倒引当金繰入れ	0	▲0	▲0	0	—	▲0	▲0	1	—
その他	24	12	10	11	23	14	21	23	8.7%
販売費・一般管理費合計	1,141	1,120	1,123	1,115	1,103	1,164	1,232	1,294	5.0%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	126	114	160	148	142	151	147	153	3.7%
システム関連費用(※2)	335	343	320	317	317	315	346	296	▲14.4%

※1 取引関係費の一部となります。

※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

### <主な増減要因(前四半期との比較)>

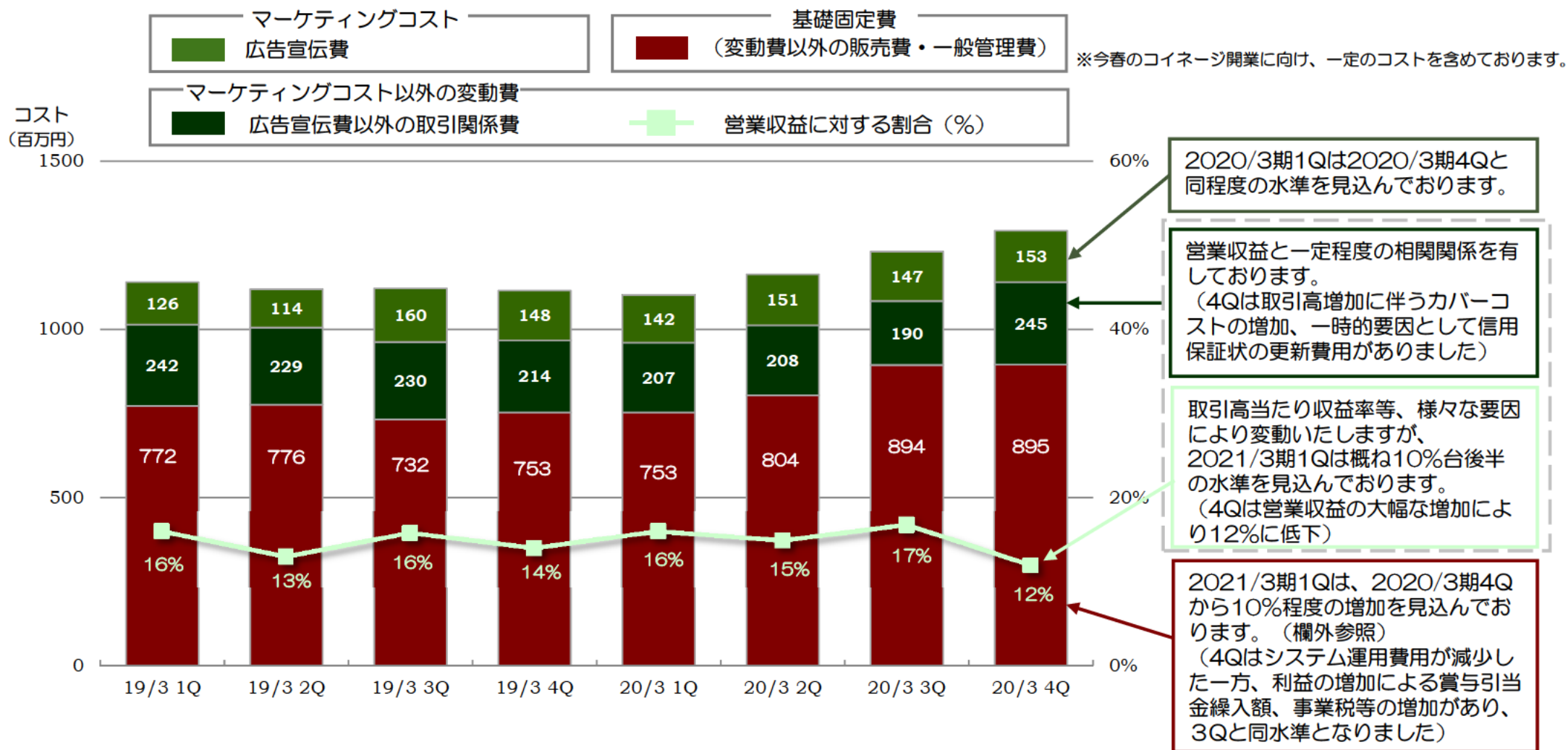
- 事務費(減少) : 基幹システム更新完了によるシステム運用費用の減少
- 取引関係費(増加) : 取引高増加に伴うカバーコストの増加、信用保証状更新に伴う費用(一時的要因)
- 人件費(増加) : 利益の増加に伴う賞与引当金繰入額等の増加



# 四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

## ■ 主要な固定費・変動費の推移



2021/3期1Qは、第1四半期中のコイネージの開業を予定しており、開業に伴うシステム運用費等の発生による基礎固定費の増加を見込んでおります。



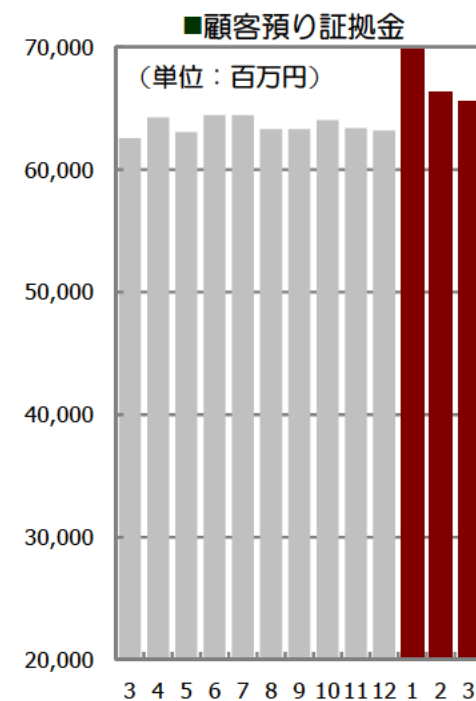
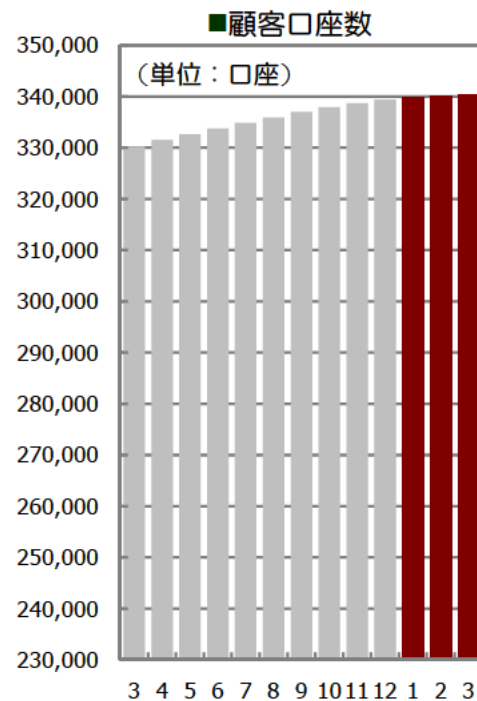
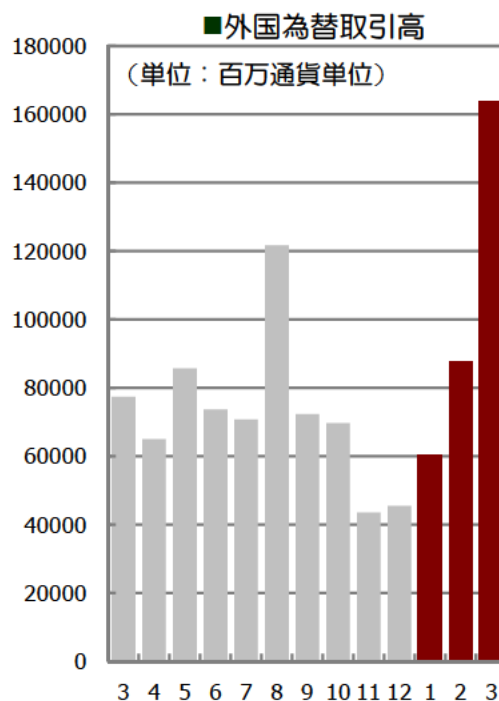
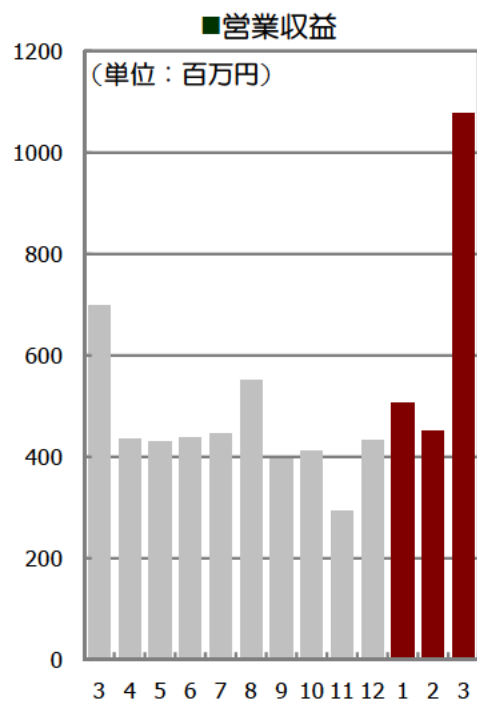
# 月次業績指標推移

Money Partners Group

## ■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2019/3期		2020/3期										
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020/1月	2月	3月
営業収益 (百万円)	698	436	430	438	446	552	397	411	293	432	506	450	1,077
外国為替取引高 (百万通貨単位)	77,410	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241	69,676	43,497	45,475	60,432	87,717	163,604
顧客口座数 (口座)	330,230	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996	337,918	338,691	339,443	339,790	340,014	340,483
顧客預り証拠金 (百万円)	62,557	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293	64,021	63,383	63,183	69,788	66,290	65,510
内、一般顧客 (BtoB以外)	57,205	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929	59,250	58,536	58,072	64,763	61,596	62,895

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



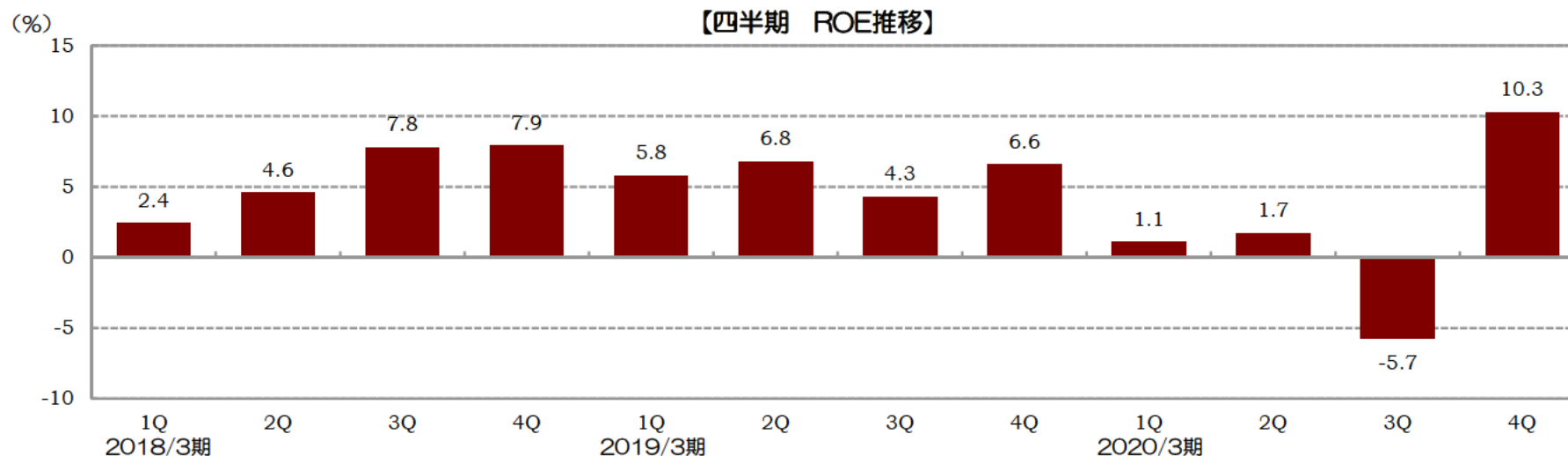




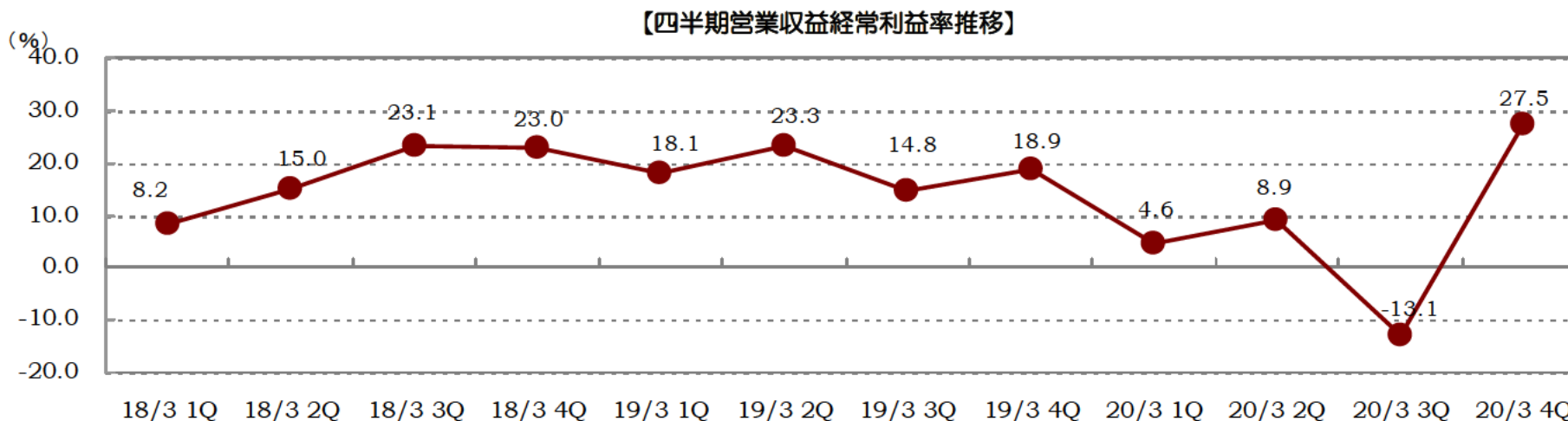
# 主要経営指標推移

Money Partners Group

## ROE及び営業収益経常利益率推移



※：四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。  
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$



## Ⅲ.2020年3月期第4四半期の重点施策の進捗状況





# 当社グループの重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大  
取引機会創出

新たなビジネス・  
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

# 実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

# 顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

# 収益

- ★ 収益性の継続的改善

## グループ全体大型投資プロジェクトの進捗

### ○ FX新基幹システム（基幹システム全面更新）

2019年11月以降、旧システムからの切替後も順調に稼働

2020年3月期4Qでは大幅なコストダウンが実現



今後も年間を通して約1.5億円超のコストダウン見込み

### ○ 暗号資産（コインージ株式会社）

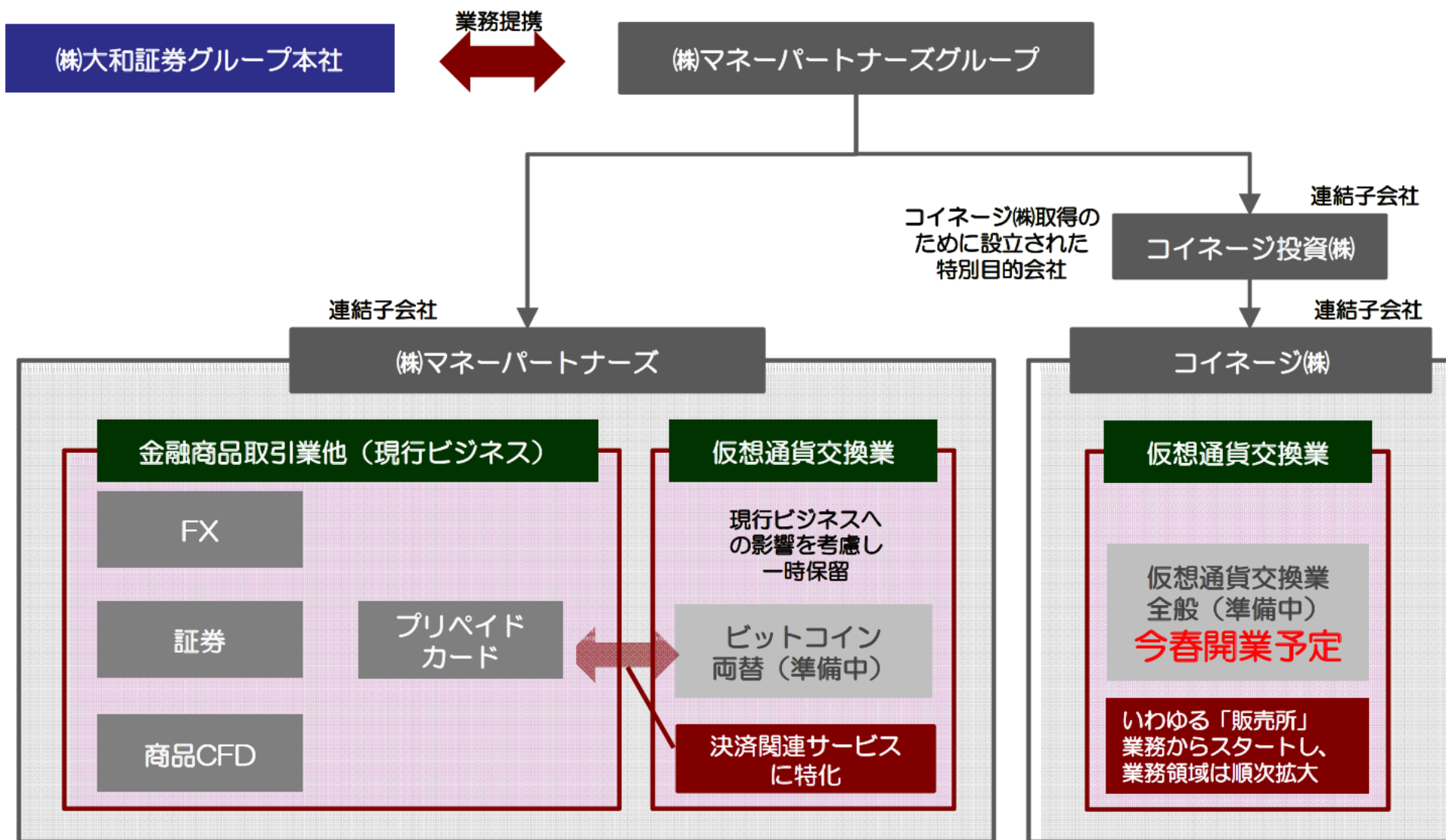
仮想通貨交換業登録のための準備を継続中

2020年2月に5.8億円増資完了（マネーパートナーズグループ全額引受）



2021年3月期1Qサービスイン予定

## 仮想通貨（暗号資産）について



これまでの取組みが評価され、各種調査でNO.1を獲得

FX



5年連続 オリコン顧客満足度第1位

『2020年 オリコン顧客満足度®調査  
FX取引証券会社』において、  
5年連続で第1位の評価を獲得



11年連続で約定率第1位

主要FX会社7社におけるFXサービスパフォーマンス  
テスト(2019年株式会社矢野経済研究所実施)において、  
11年連続でスリッページゼロ、約定拒否ゼロを達成

## 取引拡大、既存顧客の囲い込み

FX

### 創業15周年キャンペーン

これまでのご愛顧へ感謝を込め、過去にお取引いただいたお客様に対するキャンペーンを実施。

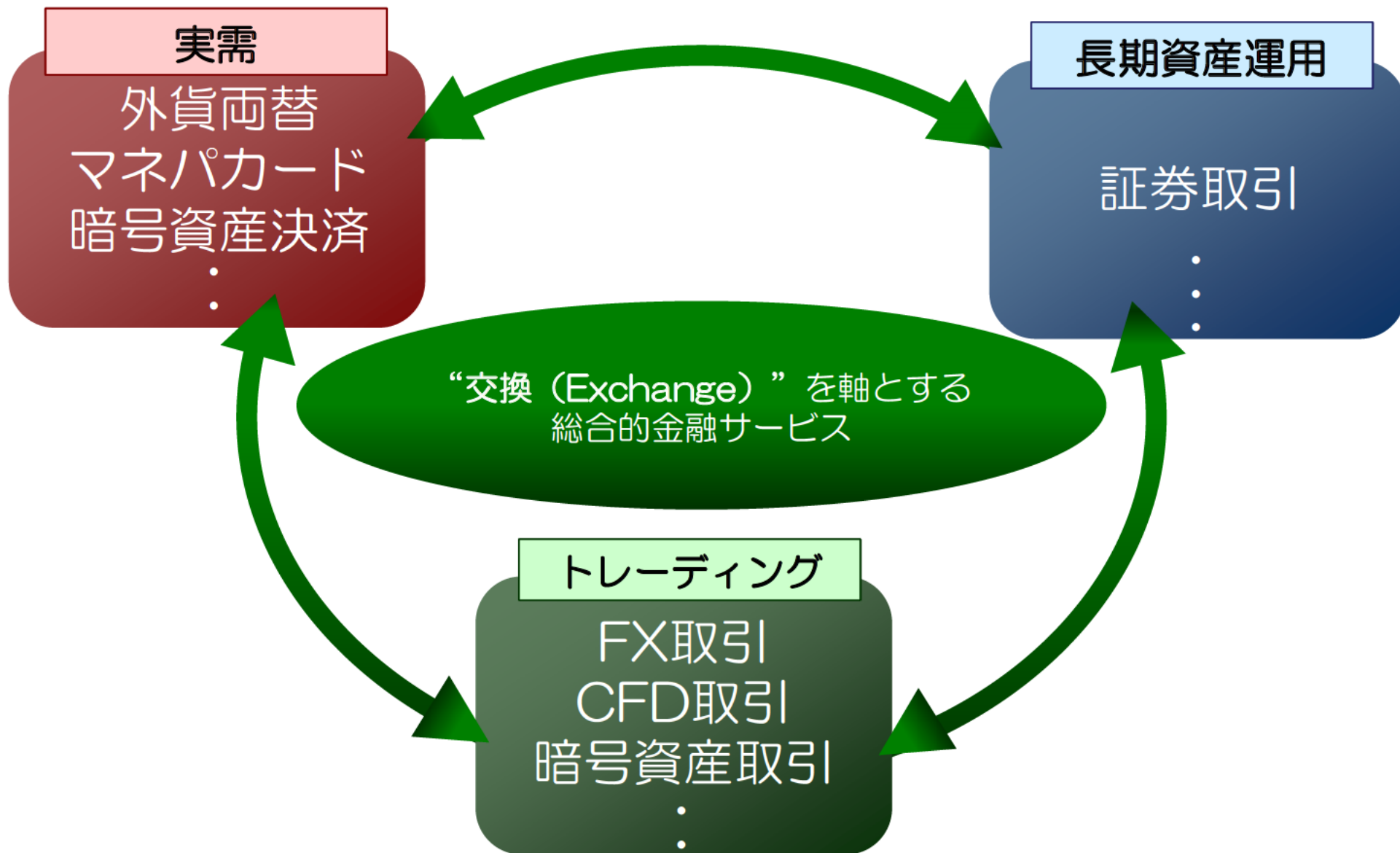
### 積極的な情報提供・投資教育

当社代表によるセミナーをはじめ、経済動向や投資手法等を解説するWEBセミナーを積極展開。

## IV. 今後の目指すべき方向性







## V.当社の経営目標及び株主還元について





## ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率（ROE）及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2020年3月期第4四半期（2020年1～3月）のROEは10.3%

※：四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。  
ROE（年換算）＝（四半期純利益×4）÷（（四半期期首自己資本＋四半期期末自己資本）÷2）×100

▶ 2020年3月期第4四半期（2020年1～3月）の営業収益経常利益率は27.5%



# 株主還元について

Money Partners Group

## 業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

### 配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の30%を目処

配当機会 … 中間及び期末 (年2回)

	2019年3月期				2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
当期純利益 (百万円)	188	223	141	219	38	57	▲190	344	
上段：3ヶ月	188	441	553	772	38	95	▲94	249	
下段：累計	188	441	553	772	38	95	▲94	249	
配当金の総額 (百万円)	114		146		65		(予定) 97		
期末発行済株式総数 (株)	33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		
1株当たり配当金	中間・期末	3.5円		4.5円		2.0円		(予定) 3.0円	
	年間	8.0円				(予定) 5.0円			

※当社は第2四半期末及び期末を基準日として剰余金の配当を行うことを基本方針としており、過年度に実施した配当実績を鑑み安定した配当を継続的に実施することを基本とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を配当性向の目途としつつも、新規事業の準備に係る先行費用が当該事業年度の配当実施額を押し下げないよう相当分の配当性向上乗せや財務状況及び事業環境等を総合的に勘案して決定しております。



# 取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額（スプレッド）があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、為替リスクを想定し通貨ペアごとに当社が定める額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちのいずれか大きい額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料（消費税込み）、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円（消費税込み）をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況（財務・経営状況を含む）の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ（元本欠損リスク）があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ（金融商品取引業者・商品先物取引業者）

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長（金商）第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

# 2020年3月期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ